|  |
| --- |
| （演題名：文字サイズ14ポイント、全角30文字以内、中央揃え）  （サブタイトル：文字サイズ12ポイント、全角30文字以内、中央揃え） |
| （発表者／職名，連名者／職名：文字10.5ポイント、左揃え、共同発表の場合は発表者に○印）  例：○滋賀太郎／介護支援専門員1)，近江次郎／医師1),滋賀花子／看護師2) |
| （発表者・連名者の所属先：文字サイズ10.5ポイント、左揃え）  例：1)社会福祉法人××，2)医療法人×× |
| ※記載例  【目的】  ・職名は主なものを１つ記載してください。  　地域における認知症ケアにおいて、○○○○○○は重要である。当事業所では、○○○○○の一環として、○○○○○の取り組みを実施している。本発表では、その取り組みと効果について報告する。  【方法】  　利用者およびその家族を対象に、○○○○○○を実施した。期間は〇年〇月～〇年〇月、計〇回開催した。実施前後での状況変化を評価するとともに、参加者に効果や改善点等について聞き取りを行った。続いて、○○○のため、併せて○○○の取り組みを行った。  【倫理的配慮】  　本発表にあたり、利用者およびその家族に了承を得るとともに、施設長の承認を得た。  【結果】  　○○○○○○の取り組みについては、計〇人（認知症の方〇人、家族等〇人）が参加した。実施前後において、参加者の〇％の○○が改善した。本取り組みによる作成物を展示する中で、地元の○○センターと新たな交流が生まれた。一方で、○○○という課題が生じた。このため、事業所内において検討会を実施し、○○○について、スタッフ内で共有、分析したところ、○○○が原因であることが分かった。   * **１ページに収まるように作成してください**。 * **フォント、ページ設定、１行あたり文字数、行間の大きさは変更しないでください**。 * 本文は、**「目的」「方法」「倫理的配慮」「結果」「考察・まとめ」**の順に区分して作成してください。   ※**区分して作成することが難しい場合は、事前に事務局までご相談ください。**   * 本文中に、倫理的配慮がなされている発表であることを必ず記載してください。 * 必要な場合は、図表・写真を掲載してください。 * 字体は明朝体とし、英数字は半角としてください。 * 表記については、**「である調」で統一**します。また、「患者様」、「患者さん」「利用者様」「利用者さん」は、「患者」、「利用者」の表記に統一します。年号は、西暦で統一します。 * 文献を引用した場合、引用元を記載してください。   また、参加者からは「役割ができてうれしい」「リフレッシュできた」という意見が挙がった。  【考察・まとめ】  　今回の取り組みから、○○○○は実際のケアに役立つことが分かった。今後も継続して取り組みを実施することにより、地域の実際のところは、○○○は困難であるが、○○○は重要であり、○○○が求められている。また、○○○の取り組みのように、○○○だけでなく、○○○が重要となる場面もある。今回の経験を踏まえ、今後は○○○○にも配慮しながら、よりよいケアにつなげていきたい。  【引用文献】  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |